

## 目標達成計画

作成日: 令和 元年 11月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有の確認。法人・施設単位で理念・方針は掲げているが職員全体の理念の共有が不十分であった。	組織としてまたケアの一番の根本的な考え方を実践するために職員全体に理念の共有化する。	全体会議にて伝達及び連絡ノートに記載し共有化を図る。	6ヶ月
2	4	運営推進会議における構成員の固定化、新規参加者は乏しい。また運営推進会議は地域とのかかわりを拡大できるとともに、ここがグループホームであることをより知って頂ける機会ある場であることの認識不足が反省させられる。	現状の構成員の方を中心としつつも新たな構成員となってくれる方を受け入れ、様々な意見交換や親交を深め、福祉施設が地域に存在する事をも知って頂ける場とする。	毎月各利用者家族様に送付している鈴だよりに無理のない範囲内で出席が可能であればお願いし、また民生委員・同業者等にも声をかけ今より少しでも開けた地域の方との関係作りに努力する。	12ヶ月
3	35	当施設でも災害対策としてマニュアルも作成し、対策を立てているが近年過去に例のない災害や建物の構造的・老朽化も進んでおり、命にもかかわるので、災害対策の根本的な見直し地域との協力体制の必要性を強く感じさせられた。	運営推進会議を利用してお互いに地域の方との連携を取りやすい協力体制を構築する観点を考える。	運営推進会議を通じてグループホームという地域に密着された施設の存在、介護に関する相談・要望その他災害の際等お互いに声をかけ合える関係作りを意識する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。